



小学生バドミントン通信

NO.20 2020.07

発行：日本小学生バドミントン連盟 会長 黒川 茂

優勝を勝ち取った総合力

はりーあっぶジュニア 三浦 由英

前年の若葉カップ、はりーあっぶはベスト16で敗退し悔し涙を流しました。選手たちは全力を出し切って闘いましたが、体格、スピード、パワー、技術、全ての面で"全国のレベルの高さ"を実感させられました。

あれから一年。その若葉カップの舞台で優勝という素晴らしい成績を勝ち取った選手たちの成長と健闘を心から誇りに思います。

今年のはりーあっぶ男子チームは、シングルのエースの山脇が五年生ながら、六年生相手でも十分勝ち星を計算でき、池田、石川も四年生はもちろん五年生相手でも十分勝負出来るまで成長してくれました。ダブルスでも、六年の三ツ石、櫛。五年の因藤、三浦、共に力を付け、全国で闘えるまでに成長し今大会を迎える事が出来ました。

大会を振り返り、この穴のない"総合力"を持ったチームに成長出来た事が勝因だったと考えています。

本稿では、ここまでの道のりを振り返り、選手たちがここまで成長出来た要因を考えてみようと思います。

はりーあっぶは中口コーチの豊富な知識・経験と的確な指導が一番の強みです。それをさらに活かすべく、父母が指導者としての勉強をしながら、コーチの指示を選手に細かく伝え指導する体制が出来ています。

特に最近では、かつて実業団や社会人リーグで活躍した父母が多くいるので、選手にとっては恵まれた環境だったと言えます。

また、経験のない父母も練習場所の確保から、シャトル拾いまで、それぞれの立場できめ細かいサポートをしてくれました。

そう言った恵まれた環境が選手たちを成長させる一助になった事は言うまでもありません。

また、良きライバル(?)でもある、女子チームの存在も大きいです。昨年の全小で優勝した藤井・縣を筆頭に、個性豊かな女子チームと一緒に練習しながらお互いに刺激しあい、共に成長出来たと思います。

何より今年は、愛知県予選をアベック優勝して本戦に進む事が出来ました。残念ながら女子チームはベスト16で敗退してしまいましたが、去年はなかった女子チームの大声援が男子チームを優勝に導いてくれた事は言うまでもありません。

それ以外にも中高生の先輩や多くのOB、OGさんのサポートのお陰で選手たちが成長出来たと思います。

一年前は悔し涙を流したチームでしたが、この素晴らしいサポートの中で、選手一人一人が努力し続けた結果、優勝と言う素晴らしい成績を収める事が出来ました。この環境こそが、はりーあっぶの"総合力"だと改めて感じています。

来年はアベック優勝するよ！がんばろ！





2019年度の大会記録



第35回若葉カップ全国小学生バドミントン記念大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・長岡京市)

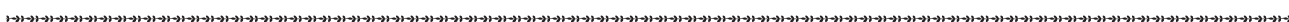
2019年7月20日～23日／京都府長岡京市・西山公園体育館

【男子の部】

優勝	はりーあつぷ	(愛知県)・・・初優勝
2位	Dream.Jr	(福井県)
3位	岡垣ジュニア	(福岡県)
	多久スポーツピア	(佐賀県)

【女子の部】

優勝	小平ジュニア	(東京都)・・・3回目
2位	桜川Jr.	(茨城県)
3位	所沢ジュニア	(埼玉県)
	PEACE	(岡山県)



「切磋琢磨」+「天真爛漫」=「不動心」

小平ジュニア監督 城戸友行

“人”は「計算」をする生き物です。オリンピックレースでも、数点の「計算」が明暗を分けた頃かも知れません。しかし、「計算」通りいかないのが“人”でもあります。「計算」の陥穽に嵌まりかけ、改めて「目の前の一戦一戦に全力を傾注すべし。」と教えられた大会でした。

申し分ないスタッフ陣に支えられ、「育成」を理念としながらも若葉の優勝を目指して「切磋琢磨」しながら「強化」してきたチームでした。春先は『「計算」通りにいけば今年も優勝出来るかも知れない…。オーダーも今年は『不動』だ。』そんな雰囲気チーム内に漂っていたようにも思います。しかし、下馬評にすら名前がなかった女子が無心で戦い優勝したその翌年、大会が近付くにつれ重圧を感じないわけにはいきませんでした。「打倒小平」の声も耳に入り「守勢に回り計算通り運ばないことが起きれば予選リーグすら勝つ保証はどこにもない…。」そんな不安の中、大会がスタートしたのです。案の定、予選から決して楽な戦いではなく、共に決勝トーナメントを闘った男子も、リベンジを目指した初戦で涙を吞みました。男子の分まで…と腹を括って臨んだ女子は、岐南に何とか勝利すると、準々決勝の広幡バドキッズ・準決勝の所沢ジュニアと、エースが正に「計算」通りの働きをしてくれたお陰で勝利を重ねることが出来ました。迎えた決勝戦、両エースU13同士の戦いが鍵を握ると踏んでいました。しかし、勝ちたい気持ちが空回りしたのか、6年エースが自滅に近い敗戦を喫してしまったのです。簡単でないとはいいましたが、チームの勢いを失速させかねないこの負け方は「計算外」でした。ところが監督の不安は杞憂に終わったのです。4年シングルスも、5年ダブルスも、6年ダブルスも、それぞれがここを先途と死力を尽くし、勝負は2対2のタイに持ち込ま

れ、最終5年シングルスに委ねられたのです。ここでも選手の踏ん張りとベンチの応援が一体となり、両者力を振り絞った戦いは小平に軍配があがりました。ついに2連覇を果たした瞬間でした。

剣道でよく「不動心」という言葉を耳にしますが、これは実は「動かない心」の意ではないそうです。どんな不測の「計算外」の事態にも対応できる心構え、それが「不動心」。常に心を柔軟にしておくことで、不測の状況に即座に対応できることこそが「不動心」なのだそうです。もしかすると、「計算」に縛られてしまった大人の方が「不動心」を持ってなくなってしまうのかも知れません。決勝という究極の状況で、今大会初めてエースが完敗するという事態が起きたとき、「不動心」を発揮してくれたのは応援に徹してくれたメンバーも含め「天真爛漫」を絵に描いたようなチビッコアスリートである彼女達自身でした。もちろん、天真爛漫な彼女らが切磋琢磨して発揮した不動心も計算されたものではありません…若葉ではいつも大人の方が教えられます。

最後になりましたが、こうした素晴らしい大会を毎年運営頂いている大会関係者の皆様のご尽力のお陰で、この素晴らしい大会で素敵な思い出を残すことが出来ました。本当に有り難うございました。



第20回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・八代市)

2019年8月11日～13日／熊本県八代市 八代トヨオカ地建アリーナ ほか

【男子Aクラス(5・6年生)】

優勝 澤田 修志(北北海道)
2位 木根 知哉(京都府)
3位 川野 寿真(福岡県)
石井 叶夢(埼玉県)

【女子Aクラス(5・6年生)】

優勝 神尾 朱理(東京都)
2位 阿部 果凜(埼玉県)
3位 佐々木弥都(愛媛県)
伊藤 康乃(埼玉県)

【男子Bクラス(3・4年生)】

優勝 寺島 拓夢(宮城県)
2位 宮原 圭純(福岡県)
3位 松本 真優(栃木県)
藤森 海斗(茨城県)

【女子Bクラス(3・4年生)】

優勝 芳賀 凜歩(宮城県)
2位 皆川 恵菜(東京都)
3位 原口 倅歩(鹿児島県)
上野 優寿(山形県)

【男子Cクラス(1・2年生)】

優勝 串間 太政(宮城県)
2位 田沢 太一(埼玉県)
3位 山口 拓(東京都)
向 唯斗(滋賀県)

【女子Cクラス(1・2年生)】

優勝 松本 楓音(高知県)
2位 大場 心晴(福岡県)
3位 井ノ上亜美(鹿児島県)
五十右帆香(静岡県)



第28回全国小学生バドミントン選手権大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟)

2019年12月21日～25日／徳島県鳴門市 アミノバリューホール ほか

【都道府県対抗団体戦：男子の部】

優勝 京都府 伊田 新・岩崎 義琉・笠谷 啓人
(初優勝) 木根 知哉・福原直太郎・山口 瞬
2位 福井県
3位 愛知県・福岡県
5位 茨城県・東京都・栃木県・石川県

【都道府県対抗団体戦：女子の部】

優勝 埼玉県 阿部 果凜・伊藤 康乃・八嶋 未来
(3回目) 榎本 紗楓・鈴木 日埜・河村 実里
2位 石川県
3位 愛知県・東京都
5位 神奈川県・栃木県・茨城県・徳島県A



【6年生男子シングルス】

優勝 澤田 修志(北北海道・帯広ジュニア)
2位 木根 知哉(京都府・長岡京市スポ少)
3位 長束 翔太(愛知県・大里東ジュニア)
吉次 和義(佐賀県・多克斯スポーツピア)

【5年生男子ダブルス】

優勝 江藤友哉・堀内暁仁(熊本県・ブライアンズF)
2位 野口馳矢・和川竜也(神奈川県・Selfish)
3位 山崎琉生・徳重 瓢(佐賀県・多克斯スポーツピア)
椎名洗介・笹島悠瑚(埼玉県・三郷ダックス)

【4年生以下女子シングルス】

優勝 阿波芽衣咲(福岡県・岡垣ジュニア)
2位 芳賀 凜歩(宮城県・石巻ジュニア)
3位 渡邊 柚乃(岡山県・PEACE)
小林 佳依(兵庫県・佐用BJC)

【5年生男子シングルス】

優勝 山脇 弘奨(愛知県・はりーあっぶ)
2位 田上 幹太(熊本県・TTBC)
3位 山城 政人(新潟県・佐渡ジュニア)
増田 遥(兵庫県・SJB C)

【4年生以下男子ダブルス】

優勝 池田純一郎・石川隼(愛知県・はりーあっぶ)
2位 井川和真・春木俊平(福岡県・岡垣ジュニア)
3位 松原史穂・西村采人(石川県・松任ジュニア)
塩谷朱雀・武森陽向(東京都・小平ジュニア)

【6年生女子ダブルス】

優勝 石井 空・戸上 凜(岡山県・PEACE)
2位 榮代結子・本田乙葉(石川県・美川湊ジュニア)
3位 大津妃奈乃・関野妃奈(北海道・札幌BEANS)
生井穂乃果・草間 結(茨城県・西豊田)

【4年生以下男子シングルス】

優勝 寺島 拓夢(宮城県・仙台大和ジュニア)
2位 松本 真優(栃木県・UDC)
3位 伊東 優真(長野県・ミンピーベアサー)
奥 真優(富山県・高岡ジュニア)

【6年生女子シングルス】

優勝 東谷 悠妃(北北海道・旭川忠和クラブ)
2位 白川 菜結(千葉県・大森ジュニア)
3位 文元 日菜(大阪府・田原スマッシュ)
平田 涼(茨城県・桜川Jr.)

【5年生女子ダブルス】

優勝 山北莉緒・長谷川葉月(埼玉県・鶴ヶ島)
2位 木村ひなの・鈴木愛香(宮城県・横倉ジュニア)
3位 懸明日香・藤井 詩(愛知県・はりーあっぶ)
工藤 葵・工藤和奏(長崎県・矢上小クラブ)

【6年生男子ダブルス】

優勝 安田 翔・前田寛仁(香川県・MBS)
2位 根本舜生・岡部 翔(神奈川県・綾瀬ジュニアBC)
3位 祇園田隼人・中原秀駿(熊本県・北部ジュニア)
宮崎直也・安達琉琉(熊本県・おくにジュニア)

【5年生女子シングルス】

優勝 畠山 想来(岩手県・ハイタッチJBC)
2位 田村 美月(北北海道・東光小少年団)
3位 永淵友梨華(佐賀県・川上ジュニア)
浅野 真央(栃木県・宇都宮中央Jr.)

【4年生以下女子ダブルス】

優勝 梅澤唯花・吉野羽都希(東京都・練馬アドバンス)
2位 中村羽奈・青山ひかり(茨城県・ハルトノ)
3位 渡邊杏梨・園田優奈(東京都・青梅ジュニア)
古田紗也・内山 蘭(山口県・下松ジュニア)

全国小学生バドミントン選手権

6年男子シングルス優勝

北海道 帯広ジュニア 澤田 修 志



僕は小学校での最後の大会となった全国小学生バドミントン選手権大会で優勝し、全小3連覇を成し遂げることができました。最後の全小の優勝は、初めて全国優勝した2年生の時の全国ABC大会

の時と同じくらい、とても嬉しかったです。

5年生の時のこの大会では、試合中少し点差をつけると気を抜いてしまい、一気に連続失点し、苦しい試合の連続となりました。決勝戦も体力が持たない中、何とか意地だけで優勝することができました。その反省をいかして、今回は気を抜かず一本一本集中して優勝することができました。

振り返ってみると、5年生の全小はプレッシャーに負けていました。その後の夏のABC大会から自分をチャレンジャーの気持ちに変えることができました。

少しずつレベルアップできたのは、練習はもちろん、動画を見たことです。トップ選手の動画と一番見たのは自分のプレーです。動画を見ながら研究するのが大好きで、今でも毎日見えています。トップ選手などの動画を見て真似をし、自分のプレーと見比べて実践する。それを小さな頃から繰り返し、自分のプレーに磨きをかけてきました。

中学生での目標は、全中、JOC、国際大会で優勝することです。そのためにたくさんの努力を重ねたいです。先輩には食らいつき、後輩には絶対に負けないという気持ちを持って行きたいです。小学生には通用していたことも、これからは通用しなくなってくると思うので、毎日全てにおいて全力で挑み、支えてくれた方々、応援してくださっている方々に恩返しができるように頑張りたいです。

6年女子シングルス優勝

北海道 旭川忠和クラブ 東 谷 悠 妃



私は小学生最後の全国小学生バドミントン選手権大会で優勝し、二連覇を達成することができました。夏の全国小学生ABC大会では準々決勝で敗退したくやしい思いをしたので、二連覇できたのは本当にうれしかったです。

私が初めて全国大会に出場したのは2年生の時の全国小学生ABC大会でした。

4、5、6年生の時にもABC大会には出場していますが、最高成績はベスト8でした。

全国小学生バドミントン選手権大会には4、5、6年生で出場し全国大会には7回出場することができました。

ABC大会ではなかなか良い結果が出ず悔しい思いをしましたが、負けた試合をきっかけに考えながら練習することを心がけました。それに1年生からやっているストレッチや体幹トレーニングも毎日続けました。

また、負けた試合をずっと引きずるのではなく、次の試合へ向け試合内容やミスなどを確認し、試合中でも悪い点を修正し、粘り強くラリーできるよう努力しました。

試合の流れが相手に行っても攻め急がず、チャンスが来るまで辛抱することの大切さもABC大会の負けから学びました。

その結果、2連覇を達成できたのではないかと思います。

優勝することは自分の力だけでなく監督、コーチ、チームメイトや家族の支えがあったからだと思います。

今年から青森山田中学校にお世話になることになり、バドミントンを始めてから一緒にやってきたコーチである父と離れることになってますが、練習を頑張り世界で戦える選手になりたいと思います。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、周りのお手本になり、応援される選手を目指して頑張りたいと思います。



2019年日本小学生バドミントン連盟 強化部の事業報告

FUTURE ARENA BADMINTON OPEN 2019

日本小学生バドミントン連盟強化部員 永 井 大 吉

期 日 2019年10月28日～11月4日
場 所 タイ・バンコク
監 督 中口 直人(愛知県)
コ ー チ 永井 大吉(岡山県)
選 手 川野 寿真(福岡県)・木根 知哉(京都府)・田上 幹太(熊本県)・斎藤 優楽(宮城県)
神尾 朱理(東京都)・阿部 果凜(埼玉県)・溝尾 花奈(北北海道)・畠山 想来(岩手県)

10月28日から11月4日までタイで行われたFUTURE ARENA BADMINTON OPEN 2019に参加してきました。

この大会はU-9 U-11 U-13 U-15 U-17 U-19と分かれていて日本選手団は男子4名、女子4名の選手でU-13 U-15のシングルスとダブルスに出場しました。

タイは気温35度をこえ日本との気温の違いに戸惑いましたが、初日の練習を無事終えることができました。

試合は男子では、U-13の部で6年の木根選手が第三シードの選手とファイナルラストオールで惜しくも競り負けてしまいました。競った場面での正確なショット、無理をして体制の悪いところからの攻めなど、正確性がでた勝負でした。競ったところで無理をせずにラリーができていれば勝ちにつながったと感じました。

6年の川野選手は、木根選手が負けた相手にきっちりラリーをし危なげなく勝ち進み、決勝まで進みました。

決勝はファイナルゲームにいき中盤までは競っていましたが、我慢できずに攻め急ぎミスが続いてしまい13本で落とし2位という結果でした。

男子はU-15の部では、パワー、スピードとともにタイの選手に劣りベスト16という成績で終わりました。

ダブルスでは木根、川野組がU-13で安定感ある戦いで勝ち進みましたが最終的には準優勝という結果で終わりました。

女子はU-13の部で阿部選手が持ち前の粘りをみせラリーをし、準優勝、5年の溝尾選手が3位と健闘しました。タイのU-13の選手は背も高くスラッとした体格な子がいて、スピード、力強さが日本選手より優れていました。

U-15は6年の神尾選手、溝尾選手がともにベスト8といった成績でした。

神尾選手はしっかりとラリーをして要所を攻めていけてましたが、やはり相手のパワーにやられ敗退し、溝尾選手は5年生ながらも角度ある珠を打ち、格上の選手に良い戦いができていました。

ダブルスは、女子は2回戦敗退という結果でした。スマッシュ、タッチ、前の詰めが違いました。

総評としては、シングルスはやはり競った場面でのラリー、正確性を上げるといった練習、経験値を高める事、海外での環境の違う中での戦い方などをもっと知っていき将来へのビジョンを子供たちも指導者も高めていかないと思います。

【成 績】

U-13男子単	川野寿真	2位
女子単	阿部果凜	2位
U-13男子複	木根、川野組	2位
U-15女子単	神尾朱理	5位
	溝尾花奈	5位





2019年度の専門部事業

■ 選手強化部

1) 2019年度日本小学生バドミントン連盟 強化合宿

① 2019年度第7回U-13選抜強化合宿

…………… 7月23日～26日／京都府長岡京市 西山公園体育館

② 第18回日小連強化合宿…………… 8月13日～16日／熊本県八代市 八代トヨオカ地建アリーナ

2) 2019年度日本小学生連盟ブロック普及事業(補助金交付)

3) 2019年度日本協会 選手強化本部等事業

① 2019年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 5月16日～22日／NTC

② 2019年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 6月15日～21日／NTC

③ 2019年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 9月14日～20日／NTC

④ 2019年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 11月18日～24日／NTC

⑤ 2020年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 選考合宿 …………… 6月10日～13日に変更／NTC

⑥ アストロマレーシアキャンプ…………… 8月26日～9月2日／マレーシア・クアラルンプール市

⑦ FUTURE ARENA BADMINTON OPEN 2019…………… 10月28日～11月4日／タイ・バンコク

⑧ アストロトレーニングキャンプ…………… 12月12日～15日／NTC

⑨ 3か国ジュニアバドミントン交流会(ダイハツ協賛) …… 3月27日～28日／大阪府・池田市市立五月山体育館→中止

■ 指導育成部

1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

① 6月9日 岩手県小学生バドミントン連盟(石鳥谷体育館)

② 8月24・25日 岐阜県小学生バドミントン連盟(大垣市総合体育館・池田町総合体育館)

③ 11月9日 宮城県小学生バドミントン連盟(燕沢小学校体育館)

④ 11月9・10日 北海道小学生バドミントン連盟(深川市総合体育館)

⑤ 11月16日 奈良県小学生バドミントン連盟(宇陀市立大宇陀体育館)

⑥ 11月24日 富山県小学生バドミントン連盟(新湊アイシン軽金属スポーツセンター)

⑦ 1月18・19日 四国小学生バドミントン連盟(国立大洲青少年交流の家)

⑧ 1月26日 広島県小学生バドミントン連盟(サンスターホール)

⑨ 2月29日・3月1日 熊本県バドミントン協会小学部(八代市立松高小学校ほか)→中止

■ 医科学研究部

1) スポーツ医科学講義の実施

指導育成部の実施する指導者講習会(巡回指導)とタイアップした形で令和元年度は4回の講義を予定しましたが、諸事情により実施は2回にとどまりました。

①令和元年6月15日 中部地区4年生以下合宿(島根県) 担当 北山吉明(医師)

②令和元年10月13日 愛知県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師) ※台風により中止

③令和2年1月26日 広島県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)

④令和2年3月1日 熊本県バドミントン協会小学部講習会 担当 北山吉明(医師) ※新型コロナ肺炎により中止

2) スポーツ歯科研究

「小学生バドミントン選手の咬合機能とパフォーマンス」 担当：坂東陽月(歯科医)、高橋睦(歯科医)

第28回全国小学生バドミントン選手権大会にて測定 令和元年12月21～25日 東京都

3) 小学生バドミントンプレーヤーの外傷・障害に関する調査

今年度からの新しい調査研究課題として、小学生バドミントンプレーヤーに発生するスポーツ外傷及び障害の調査を第20回全国小学生ABCバドミントン大会(熊本県八代市、令和元年8月14～16日)において行った。方法は参加選手全員を対象としてアンケート調査を行った。

4) 小学生スポーツ障害110番

今年度は相談なし。



令和2年度の事業計画

5月16日に東京国際フォーラムにおいて定期総会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止への取組みが必要となる中、7都府県を対象として「緊急事態宣言」が発出されたこと、また、全国各自治体の対応状況などから総合的に判断した結果、中止することとしました。

総会開催にかえて、総会資料等を送付した結果、多くの方から同意を得ることができました。

また、寄せられましたご意見・ご質問等については常任理事会・理事会等で協議してまいります。

■ 主催大会の開催

- 1) 第36回若葉カップ全国小学生バドミントン大会(京都府長岡京市) …… 7月18日～21日 ➡ 中止
- 2) 第21回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会(熊本県八代市) …… 8月14日～16日 ➡ 中止
- 3) 第29回全国小学生バドミントン選手権大会(岐阜県岐阜市) …… 1月7日～11日

【3年度大会開催予定】「第37回若葉カップ」京都府長岡京市 「第22回ABC大会」熊本県八代市
「第30回全小大会」福島県郡山市

■ 選手強化部

- 1) 令和2年度日本小学生バドミントン連盟強化合宿

- ① 第8回U-13選抜強化合宿(日バと共催) …… 7月21日～24日/西山公園体育館(京都府長岡京市) ➡ 中止
- ② 第19回選抜強化合宿 …… 8月14日～17日/八代市総合体育館(熊本県八代市) ➡ 中止
- ③ 海外遠征 …… 未定
- ④ ブロック普及事業(強化合宿等)への補助金交付 …… 普及事業は各ブロックで計画・実施

各ブロック連盟が実施する合宿などの普及・強化事業に対して日本小学生バドミントン連盟が補助金を交付するもので、平成19年度から始まった事業です。補助金は選手個人登録者数に応じて決定しています。平成20年度から賛助金の50%を上乗せし、基準単価は平成30年度に改定しています。

- 2) 令和2年度日本協会 選手強化本部ジュニア強化部事業(予定)

- ① ジュニアナショナルチーム 未定
- ② 海外遠征 未定

■ 指導育成部

- 1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

令和2年度の開催は15～20ヵ所を予定

■ 医科学研究部

- 1) スポーツ医科学普及指導活動

- ① 指導普及部と協力して、全国都道府県の指導者および保護者に対して巡回指導(実技及び講義)を実施する。
- ② 本年度実施回数は6回を予定している。
- ③ 講義内容は医科学全般を対象とするが、希望のあった項目を優先する。内容としてはスポーツ医学、スポーツ障害学、栄養学、バイオメカニクス、トレーニング理論と実際、スポーツ歯科、スポーツと脳、メンタルトレーニング、トレーナーによるコンディショニング、などである。
- ④ 依頼を頂いた都道府県に出向し、指導する。なお申し込み用紙が従来の指導普及部との併用ではなく、医科学研究部単独申込用紙となりましたので、それを使用してください。

- 2) 医科学研究活動

- ① スポーツ歯科研究を今年度も継続して実施する。
発育期にあるジュニアバドミントン選手の口腔内調査を通して、スポーツ活動に必要な歯科的問題を掘り起こし、より高いパフォーマンスにつながる、歯のメンテナンスなどについて研究する。咬合力とスポーツ能力の関連についてさらに研究を進める。
- ② 小学生バドミントンプレイヤーの外傷・障害に関する調査
今年度も小学生バドミントンプレイヤーを対象とした、外傷・障害の調査研究を継続する。

- 3) 小学生のスポーツ障害110番の開設

日本小学生バドミントン連盟に所属する小学生の指導者で、対処に困っているスポーツ障害やその他、発育や食事等の医科学的疑問について、下記のメールアドレスに質問をいただければ、医科学研究部員が回答を返信します。

メールアドレス: sp7e26q9@rice.ocn.ne.jp 医科学研究部 北山 吉明

■ その他

- 1) 広報活動

- ① 賛助会会報『小学生バドミントン通信 第20号』の発行
- ② インターネット 公式サイトの管理運営
- ③ ポスターの作成、ライブ配信

2019年度の賛助会員としてご協力をいただいた皆さんです。

皆さんからいただいた賛助金は、日本小学生連盟の運営や各ブロックで実施する普及・強化事業への補助などに使わせていただきます。

(敬称略)

【北海道】清水ジュニア/芽室町少年団/帯広栄少年団/北栄JBC/札幌大同ジュニア/札幌北ジュニア/北見市少年団/豊住少年団/網走ジュニア少年団/岩見沢JUNIOR/下野和義/日比野正人/熊谷敏夫/松原卓也/釧路ジュニア少年団/あすなろ/登別スポ少/高台少年団/斜里ジュニア/水元地区スポ少/港南飛翔Jr/サンク倶楽部/羽桜BC/東光小少年団/滝川フルールジュニア/滝川中央ジュニア/遠軽少年団/鷹松大樹/宇野千代美/高橋君代/小松正直/西山幸子/東ジュニアクラブ/南幌少年団/刈田ジュニア/愛宕東少年団/富沢少年団/東聖インパクト/北光少年団/近文第二少年団/忠和クラブ/近文少年団/MBJSココバド(2口)/深川FA/丸瀬布少年団/稚内しおみ/高砂小学校同好会/長沼少年団(3口)/苫小牧ジュニア/幕別ジュニア/十勝鈴蘭少年団/豊成JBC/中札内少年団/池田少年団/広野少年団/森少年団/七飯ジュニア/北斗Wing JR/エフォールJR 【秋田県】秋田県小学生連盟(5口) 【山形県】山形県小学生連盟(10口) 【遠藤宏一】茨城県小学生連盟(5千円) 【栃木県】田崎真光/栃木県小学生連盟会長 【埼玉県】シャトラーズスポ少/能登則男(1万円)/イーストフレンズスポ少/所沢ジュニア/出羽ジュニア/上尾ジュニア/蓮田サウスシャトラーズ/志木ジュニア/行田/春日部白翔/川口(5千円)/チャレンジャー/鶴ヶ島Angels/三郷ダックスジュニア(2口)/藤井浩一/久喜ABC/新座市ジュニア 【千葉県】小山義夫(1万円) 【東京都】上田敏之/増田英男(1万円) 【神奈川県】大清水スポ少/神奈川県小学生連盟(5口) 【富山県】堀川南ジュニア 【静岡県】富士山/羽球友の会大井川Jr/御殿場ジュニア/島田六合ジュニア/若松ジュニア/どんぐりジュニア/伊東ワールド/広幡バドキッズ/藤枝Jr/SBCスクール/富士中央/沼津ジュニア/SWACジュニア/吉田クラブ/湖西リトルバードB.C./NSY Fuji/西豊田ジュニア/1-girls-Jr 【愛知県】はりーあつぷジュニア(17口)/中口直人(10口)/石ヶ瀬スポ少/北山東山ファミリー(2口)/ウィスタリアジュニア(2口)/師勝ジュニア(2口)/愛知県小学生連盟/永井与志夫(1万円)/アドバンスジュニア/日進ジュニア/TOYOKAWA.Jr.BC/岡崎ジュニアB.C/くすの木少年団/にこにこ北城/S.G.Uジュニア(3口)/長久手ジュニア/羽つ子CLUB/T-Jump Jr/間瀬孝子/水野芳彦/たんぼぼクラブ/富士見ジュニア/鈴木由紀子/小西出穂子/乙川エール/西南ジュニア/オオサト東ジュニア/名古屋少年団/下野Jr/猪子石ジュニア 【三重県】高橋克彦/有緝スポ少/登 俊生/笹川ジュニアスポ小/森下さと子/誠之スポ少/田中良弘/高茶屋スポ少/梅本洋平/小俣町スポ少/南が丘スポ少/磯部スポ少/北村 元/川越町スポ少/明生Jr/厚生クラブ/勢和ジュニア/南島スポ少/濱地 賢/ときわジュニア/玉城スクール/二見スポ少/東見スポ少/長太ジュニア/林 大輔/成瀬裕子/加藤洋紀/美翔団ジュニア/明スポ少 【岐阜県】尾藤宏治(5口)/大垣静里少年団/尾藤英邦(3口)/三浦公雄(3口)/尾藤伸治(3口)/大垣北BSS(3口)/池田町少年団/神戸町少年団/大垣東スポ少/羽島クラブ/大垣中川少年団/大垣安井少年団/渡邊美知成(1万円)/福永正弘(1万円)/川島ジュニア/真正ジュニア/各務原ジュニア/白鳥キッズBC/大垣市BSS 【京都府】坪内正一(2口)/小泉和子/小國俊之(5口)/大前 茂(2口)/田中田鶴子/木下和代/柴田美子/三古 剛 【和歌山県】和歌山県小学生連盟(1万円) 【広島県】広島県小学生連盟(3口) 【山口県】柳井JBC 【徳島県】藍住エンジェルススポ少/内町ジュニア/助任ジュニア/小松島ジュニア/林崎ジュニア/北島Bambi/福島ラビット/加茂名ジュニア/八万ジュニアスクール/穴喰ジュニア/穴吹HAPPINESS/富田ジュニア 【愛媛県】愛媛県小学生連盟(10口)/新小JBC/西桑JBC 【福岡県】福岡県小学生連盟 【佐賀県】佐賀サンライズ(2口)/鳥栖キラリ/多久スポーツピア/七山モンキーズ/玄海ジュニア/山内ジュニア/まさしまジュニア/基山Jr 【沖縄県】沖縄県小学生連盟(10口) (合計327口)

※令和2年度も引き続き「賛助会員(1口3,000円)」を募集しています。賛助会の申込み及び会費の振込みは下記へお願いします。

【新規の場合「申込書」送付先】 〒503-0982 岐阜県大垣市久徳町339 福永正弘 宛

【会費の振込先】 継続・新規とも下記の口座へお願いします。

郵便振替口座 「00870-3-88151 日本小学生バドミントン連盟」

- * 通信欄にクラブ名・代表者名あるいは個人氏名をご記入ください。
- * 赤色の振込用紙にご記入の上、できるだけ郵便局の振込機械をご利用ください。

日本小学生バドミントン連盟 令和2年度役員 (令和2年5月16日現在)

名誉会長：靱井勝人

会 長：黒川 茂

副 会 長：北山吉明 尾藤宏治

理 事 長：能登則男

副理事長：小國俊之 吉川和孝 中口直人 白浜義次

常任理事：上田敏之 下野和義

伊藤 薫 (北信越) 藤本 伸 (四 国)

理 事

熊谷敏夫 (北海道) 遠藤宏一 (東 北)

佐倉和明 (関 東) 永井与志夫 (東 海)

松村宏則 (近 畿) 山下新一 (中 国)

吉浦健二郎 (九 州) 三古 剛 (若 葉)

福永正弘 (会 計)



日本小学生バドミントン連盟 事務局

〒068-0025 北海道岩見沢市5条西13丁目20番地 下野和義 気付

TEL: 0126-25-0089 FAX: 0126-25-4710

http://www.syoubad.jp E-mail: shimono@syoubad.jp